



教育委員会だより 子どもたちに より良い教育環境を!

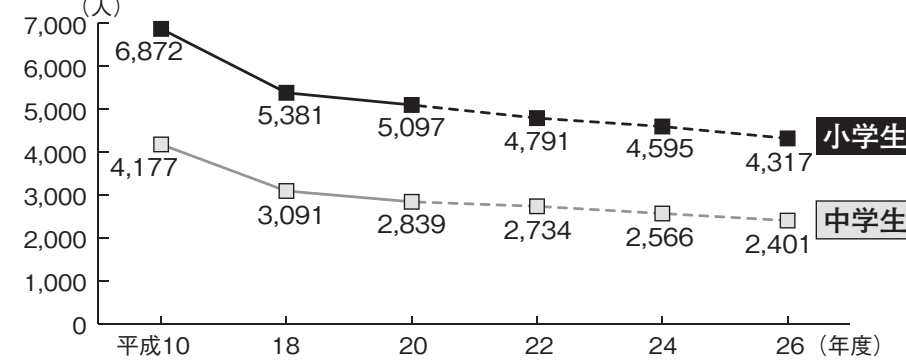
学校規模適正化審議会を設置

市教育委員会では、子どもたちにとってより良い教育条件や教育環境などの整備に向けた、小・中学校などの適正規模・適正配置について検討するため、「天草市学校規模適正化審議会」を設置しました。
今回の教育委員会だよりでは、児童・生徒数の推移や各小・中学校の学校規模、同審議会の設置などについてお知らせします。

児童・生徒数の推移

本市の児童・生徒数は、出生率の低下などによって年々減少しています。
下のグラフを見ると、平成10年度は小学生が6,872人、中学生が4,177人でしたが、平成20年度（今年度）は小学生が5,097人、中学生が2,839人となり、この10年あまりで小学生が1,775人（25.8%）減、中学生が1,338人（32.0%）減と、それぞれ大幅に減少しています。
さらに、今年4月1日現在の0歳児が小学校に入学する平成26年度には小学生が4,317人、中学生が2,401人となることが予測され、こうした減

◆本市の児童・生徒数の推移 (単位：人)



◆学校別の児童・生徒数の推移 (単位：人)

学校名	平成10年度	平成20年度	平成26年度	学校名	平成10年度	平成20年度	平成26年度
小学校				二江	253	151	150
本渡南	730	601	564	福連木	20	25	15
本渡北	723	726	775	下田北	55	29	26
亀場	347	280	308	下田南	25	12	3
志柿	53	46	35	高浜	111	49	42
下浦第一	132	62	45	大江	81	64	48
金焼	34	24	18	富津	66	42	21
栢宇土	61	47	28	一町田	191	115	86
楠浦	218	139	124	一町田第一分校	31	10	15
本町	103	105	64	新合	46	42	33
佐伊津	246	213	178	宮野河内	88	42	31
宮地岳	60	21	16	合計	6,872	5,097	4,317
瀬戸	203	186	167	中学校			
牛深	543	410	306	本渡	792	620	830
深海	93	78	39	佐伊津	137	113	—
二浦	83	35	20	本町	75	64	—
魚貫	89	53	38	本渡東	226	170	138
久玉	235	162	137	稜南	373	246	234
天附	108	48	32	牛深	602	348	239
大楠	126	108	80	牛深東	296	179	106
赤崎	74	49	—	有明	278	153	156
浦和	111	104	92	御所浦	132	79	75
島子	97	79	57	御所浦北	46	37	14
御所浦	208	136	102	倉岳	155	80	75
御所浦北	72	46	31	栖本	93	90	70
倉岳	276	157	145	新和	173	117	73
栖本	166	151	130	五和東	185	99	78
新和	178	106	88	五和西	264	158	128
大多尾	107	51	34	天草	171	112	82
御領	183	126	95	河浦	179	174	103
鬼池	81	41	26	合計	4,177	2,839	2,401
城河原	87	56	35				
手野	78	70	38				

※平成26年度は予測数です。
※赤崎小学校は、統合により平成21年4月から浦和小学校となります。
※本渡・佐伊津・本町中学校は、統合により平成22年4月から本渡中学校となります。

少傾向は今後も続いていくものと考えられます。
※学校別の児童・生徒数の推移は上表のとおりです。

各学校の規模と過小規模校などの課題

一学校教育は集団で行うことを基本としており、学校はさまざまに考え方や体験を持つ子どもたちが、集団を通して互いに鍛錬し、学び合う場であることから、一定規模の学校が必要です。
学校教育法などでは、学級数（特別支援学級を除く）によって学校の規模が分類されており、12学級が適正規模とされています（下表参照）。

しかし、本市の小・中学校の学校規模を見ると、小学校は全43校中、約半数の21校が、複式学級を持つ過小規模校とされています。

【用語の説明】
※注1・特別支援学級…教育上、特別な支援を必要とする児童・生徒のために設置する学級。
※注2・複式学級…2つ以上の学年を1つに編成した学級。

◆学校規模の分類

- 1～5学級…過小規模校
- 6～11学級…小規模校
- 12～18学級…適正規模校
- 19～30学級…大規模校
- 31学級以上…過大規模校